SEIKO

目ざまし時計
取扱説明書
電波クロック

お買い上げありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。
（例：AMOOO、PWOOO、KGOOOなど）

お客様センター　フリーダイヤル　0120-315-474

http://www.seiko-clock.co.jp

発売元
セイコークロック株式会社

説明書番号　FSQ-080J

製品の特長

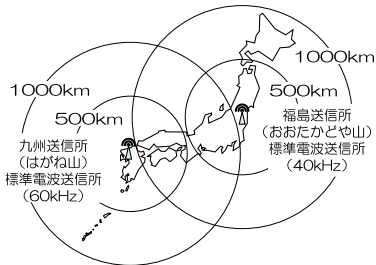
● 標準電波を受信して現在時刻・日付を表示する、電波修正機能つき。（日本国内対応）
● 東西電波（福島・九州）を自動選局。
● アラームを一度止めても約５分後に再び鳴り出すスヌーズ機能つき。
● 温度表示つき。

※ 電波を受信できない場合でも、クオーツ時計としてお使いいただけます。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは
情報通信研究機構（ＮＩＣＴ）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内２ヵ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ１０万年に１秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について
標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西２ヶ所）からおおむね１０００ｋｍ～１２００ｋｍです。この製品は４０kHz（東・福島送信所）、６０kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。

■ご注意
●電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
●電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
●標準電波は、毎時15分と45分からの各１分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧になるか、お客様センターにお問い合わせください。
（ホームページアドレス http://www.seiko-clock.co.jp）

■使用場所について
本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
●ビルの中、ビルの谷間、地下。
●高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
●テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く。
●工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
●乗り物の中。（自動車、電車、飛行機など）
●その他電波ノイズを発生させるものの近く。
●スチール机等の金属製の家具の上や近く。

保証・アフターサービス

●この時計はメーカー保証です。
保証の内容については保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。
●保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりし、メーカーが無料で修理または同等品と交換いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
●保証期間中でも無料保証の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
●この時計の修理用部品は3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。
修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談ください。
●修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
●保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込みいただきます。
修理を依頼されるときは、お買い上げ店にご持参ください。
●保証期間中、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛かり費用をご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。

電池について

⚠ 警　告

<アルカリ電池について>
⑴ ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
⑵ 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注　意

<電池について>
下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液もれや破裂などのおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。
⑴ ⊕⊖を正しく入れてください。
⑵ 電池を取り替えるときは、指定の新しい電池とすべて交換してください。
⑶ この電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
⑷ 電池に直接ハンダ付けしないでください。
⑸ 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
⑹ 時計が止まったり、時計を使わないときは、電池をはずしてください。
⑺ 時計に添付の電池は工場出荷時よりつけられていますので、電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

使用場所・お手入れ方法

■使用場所
つぎのような所では、使わないでください。
●温度が−１０℃（氷点下１０度）以下になる所。
●温度が＋５０℃（５０度）以上になる所や直射日光が当たる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や熱が当たる所、そのほか火気に近い所。
●浴室など湿気の多い所。
●強い磁気や振動がある所。
●電波ノイズを発生させるものの近く。
●ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。

■お手入れ方法
日常の手入れの仕方
●枠をふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。
●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。
●殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。

液晶パネルについて

⚠ 注　意

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分に注意してください。
万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
• 皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
• 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低１５分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
• 飲み込んだ場合は、きれいな水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

● 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
● 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
● 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
● 液晶パネル面に触れないでください。表示が薄くなったりムラになることがあります。
しばらく放置しますと元に戻ります。

温度表示について

● 温　度　精　度：±2℃（0℃～+40℃の範囲）
● センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度が変化しても表示が変わるまで時間がかかります。
● 温度が以下の状態になったときの表示
• **温度**　−9℃より低い：「ＬＬ」　　+70℃より高い：「ＨＨ」

製品仕様

● 時　間　精　度：平均月差±３０秒（気温５℃から３５℃で使用した場合）
（電波受信による時刻修正を行わない場合）
● 表　示　精　度：±１秒（電波受信による時刻修正を行った直後）
● 使用温度範囲：−１０℃～＋５０℃　ただし、表示判読可能温度範囲　０℃～＋４０℃
● ア　ラ　ー　ム：電子音、約１分間オートストップ、約５分間スヌーズ
（スヌーズは何回でも繰り返すことができます。）
● カレンダー　：２０００年1月1日～２０９９年１２月３１日のフルオートカレンダー
月末、うるう年とも修正不要。
● 表　　　　　示：日付（月／日、曜日）、午前／午後表示による１２時間制、周囲温度（℃）
● 使　用　電　池：単３マンガン乾電池（ＪＩＳ規格Ｒ６Ｐ）２個
※単３アルカリ乾電池（ＪＩＳ規格 LR6）もご使用になれます。
⚠ **注意**：単３アルカリ乾電池と単３マンガン乾電池を混ぜて使用しないでください。
● 電　池　寿　命：約１年（アラームを１日３０秒間使用した場合）
※単３アルカリ乾電池→約1.5年
● 電波受信機能：自動受信（午前２時から３時間ごと、次回の受信までクオーツの精度で動いています。）
手動受信

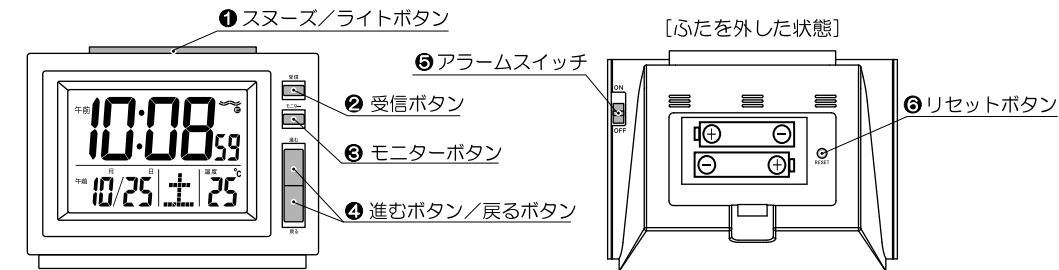
※ 上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

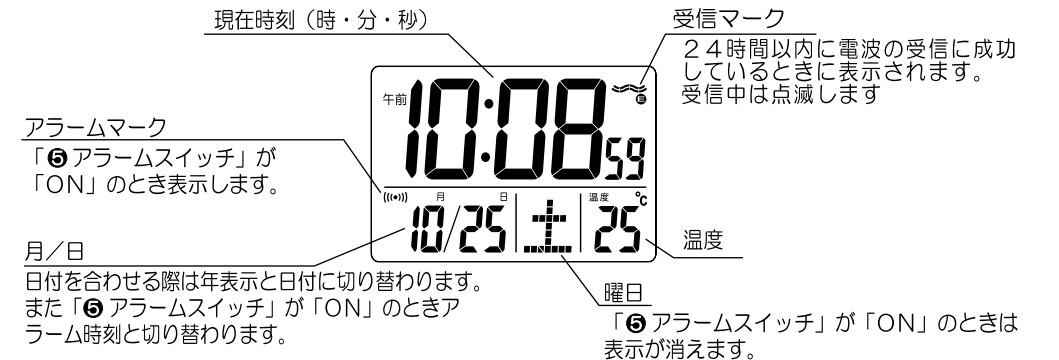
故障かなと思ったときには

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。
なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症　状	考えられる原因	処　置
表示が出ない	・電池が入っていない。 ・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
	・電池が正しい向きで入っていない。 ・きちんとリセットされていない。	・電池を正しく入れ直して、確実に「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーの表示が欠けている	・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
	・きちんとリセットされていない。 ・静電気等による誤動作。	・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーが合っていない	・受信に成功していない。	・裏面「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。
	・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
	・きちんとリセットされていない。	・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
アラームの音が鳴らない	・「アラームスイッチ」がＯＦＦになっている。	・「アラームスイッチ」をＯＮにしてください。
	・静電気等による誤動作。	・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
	・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。

ご使用方法

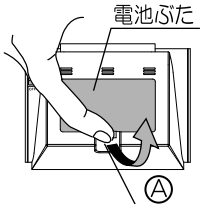
■各部の名称

❶スヌーズ/ライトボタン —— 押すとバックライトが約５秒間点灯します。また、アラームが鳴っているときに押すとスヌーズ機能が効き、約５分後に再びアラームが鳴ります。
❷受信ボタン —— 通常表示（日付・時刻が表示状態）のときに押すと標準電波の受信を開始します。また、手動で現在時刻や日付を合わせるときに使用します。（２秒以上押し続けてください。）
❸モニターボタン —— 押し続けている間は、アラームが鳴り続けます。
❹進むボタン／戻るボタン —— アラーム時刻または現在時刻や日付を合わせるときに使用します。
❺アラームスイッチ —— アラームの ON/OFF の切り替えができます。
❻リセットボタン —— 電池交換後は先端の細いもので必ず押してください。

■表示

ご使用の前に付属品をご確認ください。
●単３マンガン乾電池２個　●取扱説明書（本書）１枚　●保証書１枚

■ご使用方法

ご使用前に表示部の透明シールをゆっくりはがしてください。

１．電池を入れてください（単３マンガン乾電池　２個）

裏面のⒶ部に指をかけ、手前に引いて電池ぶたを開けてください。
⊕⊖をまちがえないように注意してください。
●単３アルカリ乾電池もご使用になれます。
⚠**注意**：単３アルカリ乾電池と単３マンガン乾電池を混ぜて使用しないでください。

２．リセットボタンを先端の細いもので押してください。

表示が全てついた後、時刻「午前１２：００」となり、標準電波の受信を開始します。
注）電池交換後は、必ず「❻リセットボタン」を押してください。

３．時計を設置してください

時計を使用したい場所に置いてください。この際、窓際等のできるだけ電波を受信しやすい場所に置いてください。
●受信中は、Ⓔ マーク（または Ⓦ マーク）が点滅し、受信マーク が受信状態に応じて変化します。
●受信に要する時間は最長約２０分間です。
●使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。

［受信成功］
受信マーク が表示され、［月／日］［曜日］［時：分］［秒］が正しい日付と時刻に修正されます。
Ⓔ を表示：福島送信所からの電波を受信
Ⓦ を表示：九州送信所からの電波の場合
●受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。

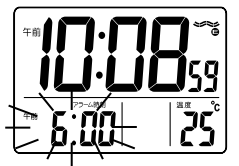
〈受信に成功した場合〉 表示あり

［受信できない］
受信マーク は表示されず、時刻、日付の修正は行なわれていません。右記「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。

〈受信できなかった場合〉 表示なし

４．アラームを鳴らすには

① 「❹進むボタン／戻るボタン」を押してアラーム時刻を合わせてください。
●「❹進むボタン／戻るボタン」を押すと日付がアラーム時刻に切り替わって点滅し、アラーム時刻合わせの状態になります。
●「❹進むボタン／戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
● 約４秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定し［通常表示］に切り替わります。

② 「❺アラームスイッチ」をONにしてください。アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。
●アラームマーク ((•)) が表示されます。
●日付がアラーム時刻に切り替わり、曜日表示が消えます。

５．アラームを止めるには

アラームを止めるには２通りの方法があります。

① アラームを完全に止めたい場合
「❺アラームスイッチ」をＯＦＦにして止めます
●アラームマーク ((•)) の表示は消え、アラーム時刻が日付に切り替わります。

② 約５分後に再度アラームを鳴らしたい場合（スヌーズ機能）
「❶スヌーズ／ライトボタン」を押してください。アラームが止まり、約５分後に再び鳴り出します。
●スヌーズ中はアラームマーク ((•)) が点滅します。
●スヌーズ機能は何回でも繰り返すことができます。

アラームは約１分間で自動的に止まります。（オートストップ機能）
この場合、アラームマーク ((•)) は表示されたままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

その他の機能

■自動受信について

午前２時から３時間ごとに、自動で電波受信を行います。
受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

■電波が受信できなかった場合

１．電波を手動で受信させ、時刻、日付を合わせる

「❷受信ボタン」を押してください。標準電波の受信を開始します。
●受信状態については、左記「■ご使用方法」をご覧ください。
●うまく受信できない場合は本体の向きや場所を変えて、もう一度受信させてください。
ご使用中に受信マーク が表示されない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
●詳しくは裏面（電波クロックについて）をご覧ください。
また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

２．手動で時刻、日付を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。
① 「❷受信ボタン」を２秒以上押し続けてください。
② 「❷受信ボタン」を押すごとに、下図のように順に表示が点滅します。
③ 「❹進むボタン／戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。
●「❹進むボタン／戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
●約５分以上「❹進むボタン／戻るボタン」や「❷受信ボタン」が押されなかった場合は自動的に［通常表示］に切り替わります。時刻や日付は［通常表示］に切り替わる直前の表示です。

［通常表示］
普段はこの表示でお使いください。

［年合わせ表示］
「❹進むボタン／戻るボタン」で年を合わせてください。
年は２０００年～２０９９年まで合わせられます。
曜日は自動的に合わせます。

［月／日 合わせ表示］
「❹進むボタン／戻るボタン」で日付を合わせてください。
曜日は自動的に合わせます。

［時刻 合わせ表示］
「❹進むボタン／戻るボタン」で時刻を合わせてください。
「❹進むボタン／戻るボタン」を押した瞬間に、秒表示は０秒にリセットされます。

④ 時刻合わせが終了しましたら、「❷受信ボタン」を押して［通常表示］に切り替えてください。

■試し鳴らしについて

「❸モニターボタン」を押し続けている間、時刻に関係なくアラームが鳴ります。

■ライトについて

「❶スヌーズ／ライトボタン」を押すと、ライトが約４秒間点灯します。

■自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。
（誤受信の防止や設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください。）
① 以下を参照し、「❷受信ボタン」を押してください。

受信マーク が**表示されている**場合	「❷受信ボタン」を受信マーク が消えるまで（約１０秒）押し続けてください。以後、自動受信はしなくなります。 ※注意「❷受信ボタン」を押してから約２秒後に電子音が鳴りますが、そのまま「❷受信ボタン」は押し続けてください。
受信マーク が**消えている**場合	「❷受信ボタン」を押してください。受信マーク が点滅し始めます。次に「❷受信ボタン」を受信マーク が消えるまで（約１０秒）押し続けてください。以後、自動受信はしなくなります。 ※注意「❷受信ボタン」を押してから約２秒後に電子音が鳴りますが、そのまま「❷受信ボタン」は押し続けてください。
受信マーク が**点滅している**場合	「❷受信ボタン」を受信マーク が消えるまで（約１０秒）押し続けてください。以後、自動受信はしなくなります。 ※注意「❷受信ボタン」を押してから約２秒後に電子音が鳴りますが、そのまま「❷受信ボタン」は押し続けてください。

② 上記「■電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻,日付を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
●この機能を解除するには、「❷受信ボタン」を受信マーク が点滅し始めるまで（約１０秒）押し続けてください。
※注意「❷受信ボタン」を押してから約２秒後に電子音が鳴りますが、そのまま「❷受信ボタン」は押し続けてください。

■ご注意

●この製品にはマイコンが内蔵されています。静電気等により表示不良等誤作動することがありますが、故障ではありません。「❻リセットボタン」を押してください。
●「❻リセットボタン」を押した場合は、設定された時刻等はすべてリセットされます。
●この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
●電池交換時は、必ずリセットボタンを押してください。